

第640回8月度大会

開催日：平成29年8月27日（日曜日）

場 所：徳島県鳴門市瀬戸町明神鳴谷106-2：斎藤渡船 090-3782-0837

集合時間：午前 4時30分

出船時間：午前 5時00分

納竿時間：午後 2時00分

レポート：田邊文雄

この大会は堂ノ浦の斎藤渡船が毎年開催するC-1グランプリです。何故かこの大会に参加することになりました。しかし、当会からの参加は初めてで、参加人数が3名と少なく第640回大会は成立しませんでした。

この大会のルールは二人のペアで、釣場は各自筏かカセのどちらかを選択します。そして出船前にくじ引きで筏、カセの場所を決める。

ダンゴは筏、カセに常備されているものを使用し持ち込みは禁止です！そして餌は貝類は一切禁止です。釣竿は1竿とし予備は可能です。

賞はペアで釣った20cm以上のチヌ（総寸法）で競います。

参加人数も少なく松元会長から、全チヌクラブの岡本会長に参加の手続きをお願いした。そして、私の相手（ペア）を知らされたのが全チヌクラブの大畑さんでした。

当日渡船場で大畑さんから声をかけられ、よろしくお願ひしますと挨拶する。いよいよ渡船開始、私はくじ引きの結果5号筏、同乗者は阪神さわやかクラブの梅木さんでした。

筏に着くや船頭さんから釣り座の向きを教えてください準備にかかる。

初めにカメジャコで落とし込む？しかし反応はありません。何度か餌を換えるもあたりがありません。一時間ほど経ったでしょうかダンゴ釣りに切り替えます。

筏常備のダンゴに粗挽きさなぎを混ぜ海水を少し多めに入れ柔らかくして使用しますが手にまとわりつき中々なれません。手をよく洗わなければリールも竿も汚れます。

この動作は最後まで慣れず杓や竿のリールシートの隙間に入り込み掃除が大変です。ダンゴに集魚材のオキアミや粗挽きさなぎを混ぜて撒きますがエサ取りすらよってきません。おまけに根がかりが多く梅木さんの了解を得て反対側へ釣座を移動しました。

しかし、何故か釣れません。5号筏はよく釣れる筏と聞いていたんですが・・・今日はなあーんだ??? とうとう納竿時間となってしまいました。こんなに釣れない中でも梅木さんは小ぶりですが1匹ゲットしていました。

全チヌクラブの大畑さんは2匹釣られており表彰式では田邊、大畑組と私の名前も呼ばれびっくりです。入賞の順位はわかりませんが賞として鳴門金時のさつまいもをいただきました。大畑さん、お役に立てずすみませんでした。

参加者：松元会長、山本氏、田邊の以上3名

釣果：なし

天候：晴れ